



 岩手県社会福祉士会 IACSW

ニュースレター



～ NO.140 秋の速報号 ～



つなげる まもる ささえる

イーハトーヴォ、豊かな共生社会の構築を目指して

■ Contents 目次 ■

- | | |
|----------------------|---------|
| ・会員の輪リレートーク | p.2 |
| ・新会員の紹介・抱負 | p.3～5 |
| ・委員会 活動報告 | p.6～7 |
| ・ブロック 活動報告 | p.8 |
| ・Information ～事務局から～ | |
| (1)研修案内 | p.9～10 |
| (2)苦情対応及び処分について(報告) | p.11 |
| (3)お知らせ・今後の活動予定 | p.12～13 |





会員の輪 ～リレートーク～

「大切なマインド」 盛岡ブロック 大富 和弘

MCL 盛岡医療福祉スポーツ専門学校の大富和弘と申します。社会福祉士養成校として実習指導やボランティア訪問の受け入れ等、常日頃から社会福祉関連事業所のみなさまにはご協力いただき感謝申し上げます。今回、社会福祉士になることを目指している学生が普段どのように頑張っているか、少しご紹介できればと思います。

成り行きで生きてきた自分がまず最初に感じるのは、10代のうちから社会福祉に関心をもって入学してくる若者たちへのリスペクトのような思いです。みんながすごく意欲的というわけでもありませんが、若いころに自分のことしか考えずに生きてきた私にしてみれば、その善良さは眩しさすら感じるものです。そしてそんな輝きは半年もたつと大体の学生から消え失せ、2年生にもなるといろいろなことを言うようになります。「授業を早く終わらせてほしい」「隣の人と相性が悪いので席替えをしてほしい」「この日を休みにしろ」「書類なくしたので教室まで持ってこい」等々、エゴむき出しの要求が後を絶たず、授業では半分弱の学生が安らかに寝息を立てる光景に、私は小公女セーラのように小さな胸を痛める日々が続きます。

そんな彼女ら彼らですが、うちの学科で重視する地域活動の予定を伝えても、「それって行かないと欠席になるんですか?」とか「だる」とか心無いことを言うのですが、いざ当日になってみるとちょっと不思議なことが起きたりします。社協さんにお声がけいただいて参加するスマホ教室では、その場を訪れた地域の高齢者に学生がスマホの使い方を教えるのですが、教わる高齢者がとても満足げに話を聞いており、教えてる学生の顔も何やらいきいきとしています。授業では下を向いて微動だにせず瞑想するばかりの人たちですが、地域の人に「そうだったんだ! ?」とか「ええ～! すご～い!」なんて言われてるうちに、ステイブジョブスばりに手振りを交えて説明したりしています。別れ際には笑顔で「またきてくださいね!」なんて手を振ったりもしています。そしてそんな経験をして以降は、地域活動や実習等に対してなんだか妙に意欲的になったりするのです。

ソーシャルワークって縁結びの要素があるなあ、と個人的に思っていました。学生のソーシャルワークをしていきたいという思いは多くの場合、地域で出会った人たちとのコミュニケーションから生じてくること、一緒に考えたり笑ったりして「心が通う」人と人の接点のなかに、ソーシャルワークの大切なマインドがあるんだなあと思えて気づかされます。そう思うと使用人のように切ない日々を送りながらも、学生が良縁を得て本当の自分を目指していける環境づくりはしていきたいかな、と思っていました。

次は特別養護老人ホーム秀峰苑で相談員として活躍されている岩館弘幸さんにバトンタッチします。(同級生で学生の頃一緒にダラダラしてました)よろしくおねがいします!



新会員の紹介・抱負

2025年4月から43名が入会されました。7月19日の新会員オリエンテーションに参加された会員を含めて、新会員に寄稿をお願いしました。寄稿いただいた新会員を紹介します。

○ 長沼 浩

長沼 浩

社会福祉法人 爽生会 シェーンハイムやはば居宅介護支援事業所
管理者 兼 主任介護支援専門員 第2層生活支援コーディネーター

介護福祉士として約15年(老健CM兼務含)を経て、居宅介護支援事業所開所に伴い管理者兼ケアマネジャーとして約15年従事しています。

20代から社会福祉士資格取得に対する思いは強くありましたが、20代は経済的余裕がない、30代は育児で難しい、40代は仕事が多忙で時間と余裕がないなど行動に移せず年月が経ち、40代半ばには資格について考えなくなっていました。しかし、数年前に娘が志望高校を目指し懸命に受験勉強に向き合う娘がとても輝いて見えていました。そうした中、父親として、また介護従事者として今の自分はこれといった目標もなく、目指すものもボヤっとしたもので、日々仕事を終え一日を終えてという生活にこれではダメだ！娘からカッコいい父親と思われたい！という思いが強く湧いてきました。その日を境に受験に必要な要件を満たすための準備をし受験生の娘とともに受験勉強をしました。

そして、30年を経て今年念願の資格を取得できた自分を褒め、自分を資格取得に導いてくれた娘に心から感謝しています。

先日、新会員オリエンテーションに参加させていただきました。それぞれ目指すものを持たれ、社会福祉士として第一線で活躍されている先輩方からお話を聞いたり、声をかけていただき大変心強く感じましたし、皆さんとてもカッコよく輝いておりました。今後、先輩方に少しでも近づけるよう努力していきます。





○ 田高 好樹

オリエンテーションでは、補足説明や直接質問ができたことで見通しをもつことができました。ありがとうございます。

私は、花巻清風支援学校で教諭をしております田高好樹と申します。障がい児教育の仕事をしています。社会福祉士の資格は、大学卒業後に高齢者施設で働くようになってから通信で受験資格を取得しました。営業や担当者会議等、様々な職種の方とやりとりをする中で、スキルアップの必要性を感じたからです。

長い年月を経て、教員免許を取得するために福祉の現場を一旦離れましたが、採用後も子どもたちの学校卒業後の生活について関心を寄せておりました。入会しようと思ったのは、施設や在宅介護の仕事をしていた時に、様々な現場に立ち会い、相談援助を含めて積み重ねてきたことが、社会人経験の糧になっていると、転職を経て実感しているからです。だから学校教育に携わる上で、もっと社会のことを知る努力をしたいと思うようになり、会員になりました。

特別支援教育のキーワードに「自立と社会参加」があります。勉強し始めたころは、福祉制度の理念とも通ずるところがあると感じ、共感したことを覚えています。これから、職場以外での貴重な学びの場として、身近なテーマの研修に参加したり、長期的には基礎研修を受講したりしながら成年後見制度についても学んでみたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

○ 高屋敷 晴美

①自己紹介

高屋敷晴美と申します。勤務先は宮古市にあります宮古山口病院という精神科病院で相談員として勤務しておりました。現在は、「精神科デイケア」という部署で、日常生活の自立、社会参加、就労・復職、または生活リズムの安定を目的とした地域で安定した生活を送るため精神保健福祉士として従事しております。

②社会福祉士資格取得の動機等

相談室勤務時の「相談」は中学生から高齢者までと年齢幅があること、相談内容も実に様々です。各関係機関との連携を図るにつれ知識が必要と感じられたことがきっかけです。

③社会福祉士として挑戦してみたいこと

成年後見人に興味を沸いて来たこと、スクールソーシャルワーカー養成研修に参加したところ、微力ながらお力になれることを知り、新たな分野で挑戦してみたいと思い始めています。

④岩手県社会福祉士会に対する要望等

研修情報がメールで送信されるのは非常に効率が良く、事務局と連携が取りやすいと感じました。また、研修を通して皆さんの熱量に圧倒されたことです。「誰かのために何ができるか」、入会して岩手県社会福祉士会の活動実態を伺い知り得た所でこれからも勉強させていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 八重樫 泰樹

①自己紹介(氏名、勤務先、業務内容等)

高齢フリーター (60歳で営利企業を辞めて、横浜から転居してきました)

②社会福祉士資格取得の動機等

子どものため、親なき後の生活環境を考えてやりかったというのが当初の動機です。

③社会福祉士として挑戦してみたいことや夢

私の健康寿命は、あと10年と想定されます。悔いなき選択を。

④岩手県社会福祉士会に対する要望等

ソーシャルワーカーには不適格な私に再教育を施し、資源化して下さる事です。

○ 白澤 まゆみ (しろさわ まゆみ)

①自己紹介

勤務先 ハローワーク盛岡 専門相談部門配属 非常勤職員

業務内容 精神・発達障害者雇用サポーターとして、主に発達障害者の個別支援(キャリアコンサルティング・職業紹介・定着支援)と企業に対する障害者雇用の促進活動を担当しています。

②社会福祉士資格取得の動機等

ハンディを持つ多くの方が就職や生活全般において困難を抱えていることを知り、制度(手帳申請・年金等)や社会資源をつなぐ役割を担いたいと思ったことがきっかけです。そして福祉大の通信教育部を6年も掛けてようやく卒業し、晴れて資格も取得できました。

③社会福祉士として挑戦してみたいことや夢

孤立や孤独を何らかのサポートで減らしていけたらいいな・・・と考えています。何をどうしたら良いか勉強不足ですが、これから皆さまから学んでいきたいと思ひます。

④岩手県社会福祉士会に対する要望等

「福祉はどこかで繋がっている」と、ある有名な国試対策の先生が何度も仰ってましたが、さまざまな分野・領域の先輩方と交流を深めていきたいと考えております。

⑤その他

ソーシャルワーク実習では実習先の白畑園長先生と巡回指導の西尾先生に大変お世話になりました。岩手県社会福祉士会の皆さま、これからどうぞよろしくお願いいたします。





委員会 活動報告

1. 強度行動障害支援者養成研修について

障がい委員会 委員長 阿部 明典

先に総会等でお伝えしている標記研修ですが、6月に岩手県との契約締結し、県士会が受託となりました。運営については、障がい委員会が取り組んできた地域と障害の関係性から主軸となり、事務局との連携のもと、専門研修終了の県士会員以外も含む講師の協力のもと取り進めてきたところとなります。

開催は、基礎研修9月11日(木)～12日(金)、専門研修11月6日(木)～11月7日(金)で、会場は共にふれあいランド岩手となります。基礎研修は、既に申込み終了しましたが、定員の50名に対して倍を超える申し込みと関心の高さを感じました。最終的には受講者70名に調整し、69名が受講修了しましたが、講師陣の優れた専門性もあり、大変内容の濃い実践的な研修となりました。

但し、研修への関心の高さのその半面で、実際の強度行動障害の受入れや対応は脆弱な状況であることは否めない状況にあります。その対応も含め、地域の支援体制強化や支援者のスキル向上等を目的に新たにフォローアップ研修を来年1月19日(月)に開催することとしました。講師には、厚生労働省の発達障害施策調整官山根和史様の内諾を得ております。

新たな受託事業として始まった研修ですが、県士会ならではの専門性も取り入れて、より充実した内容を目指していきたいと考えています。

2. 三団体合同研修会について

実践研究委員会 委員長 寺崎 卓也

7月12日(土)にソーシャルワーク三団体合同研修会をアイーナで行いました。今回は「社会的孤立を考えよう - 誰ひとり取り残さない社会のために私たちができること -」をテーマとし、会員のみならず、一般や学生の方々も含め、83名にご参加いただきました。講演では座間市の林星一氏より、社会的孤立について事例を交えてお話いただきました。支援につなぐための視点や工夫など、地域での活動に生かせる知見が得られました。グループワークでは、社会的孤立の現状を共有し、私たちができることを考えました。様々な気づきや具体的なアイデアが出て、とても有意義な時間となりました。

今年度も来年2月21日(土)に実践研究発表会を予定しております。基礎研修Ⅱを修了した方、権利擁護センターぱあとなあ岩手、気仙ブロック、沿岸ブロックの方にご発表いただく予定です。情報交換や実践の振り返りを通じて新たな学びが得られる機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

て、より充実した内容を目指していきたいと考えています。

※三団体合同研修は、岩手日報に掲載されました。詳しくは、岩手県社会福祉士会 HP をご覧ください☆

3. 自治体社会福祉士情報交換会を開催

自治体社会福祉士の会 小野 大祐

8月23日(土)、盛岡地域交流センターマリオスを会場に「自治体社会福祉士情報交換会」を開催し、県内の自治体に所属する会員・非会員あわせて21人が参加しました。

今年1月に続く2回目の開催となった今回は、岩手県社会福祉士会30周年記念研修での講演が自治体社会福祉士の会立ち上げの契機となった齋藤昭彦岩手県立大学客員教授を講師に招き、「行政における社会福祉士とは～自治体の福祉行政専門職員に求められる能力～」をテーマに講演をいただきました。

齋藤教授は、自治体の福祉行政の歩みを追いながら、近年の福祉行政において相談支援機能が専門分化・民間委託化されていることに触れて「民間の専門職に対応する職員が自治体の担当部署にいて、共通言語を用いて民間と一緒に考え、検討する体制が必要」「現在の社会福祉主事に期待される役割は任用資格では対応しきれない」と述べ、福祉行政専門職に求められる①セーフティネット能力、②ネットワーク形成能力、③政策形成・実施能力を持つ人材育成が必要であると提起されました。



<齋藤教授の講演に耳を傾ける参加者>

講演後、事前にあげられた意見から「自治体社会福祉士の価値、知識、技術の維持、存続意義について」をテーマに選定し、ワールドカフェ方式でメンバーを入れ替えながら意見交換を行いました。参加者からは「今回のつながりが色々な時に相談できるきっかけになる」「同じ職種で集まって悩みを共有できる貴重な機会」「社会福祉士を採用してもらえそうな働きかけが大事だと感じた」などの感想をいただきました。

これを受け、齋藤教授は「現場でさまざまな人たちの悩みや苦しみを聞いて、解決するための事業を起こせるのは行政社会福祉士だけ」と行政社会福祉士の存在意義を示唆するとともに「社会福祉士会のブロック単位で集まりレベルアップを」と、当会の支援にも期待を寄せられました。

自治体社会福祉士の会では、本年度下期にも情報交換会の開催を予定しています。多くの方に参加いただき、県内の自治体社会福祉士のつながりを作ることができればと思います。皆様のご参加をお待ちしています。



<それぞれの職場や業務のほか悩みも語り合いました>



<各テーブル盛り上がり話は尽きません>



Information ～事務局から～

◆ (1) 研修等のお知らせ ◆

【両磐ブロック】

『第1回 両磐ブロック 定例研修会』

(1)委員会活動報告

(2)講義「対人援助におけるセルフパップトークセミナー ～自分を勇気づける言葉～」

講師 日本パップトーク普及協会 認定講師 大塚直美氏

開催日時: 9/27(土) 14:00～16:30 / 17:00～懇親会もあります☆

開催場所: 一関市総合福祉センター 3階大会議室

対象者: 岩手県社会福祉士会の会員・非会員、ブロック外からの参加も歓迎☆

参加費: ①会員:無料 ②非会員:500円 / 懇親会:5,000円

懇親会会場:「インド&ネパールレストラン パナス」懇親会からの参加もOK!

※詳細、お申込みについては別紙参照

【岩手県社会福祉士会】

『2025年度 第1回 特別研修』

本研修は、会員の福祉分野等の幅広い知見を深めることと社会福祉士の専門性の向上に向けて、今日的な話題を取り上げ特別研修として開催するものです。

社会福祉士のジェネラルソーシャルワークの視点の機会として企画実施します。

(1) 講義:テーマ「薬物依存からの回復とソーシャルワーク」

ー薬物依存における保護観察所又は保護観察官の関わりー

講師:仙台保護観察所 処遇部門 薬物ユニット 統括保護観察官 宮木 岳 氏

(2) 意見交換

開催日時: 10/18(土) 14:30～16:30

開催場所: ①Web 開催(ZOOM ミーティングでのオンライン参加)

②ホスト会場:岩手県社会福祉士会「銀河ルーム」

参加費: ①会員:無料 ②非会員:3,000円(当日預かり又は振り込み)

※詳細、お申込みについては別紙参照

Copyright(C)Koriyama City



2025年度
第29回

社会福祉士 東北・北海道 研修大会（福島県大会）

大会テーマ 「子どもと女性の権利擁護を考える」

「命・暮らしを護るために…」

子ども・女性・マイノリティーなど社会的弱者が貧困や差別・孤立に直面している現状があります。本大会では社会福祉士として「命と暮らしを護る」役割を再確認し、地域や組織に対して果たすべき使命と役割について考えたいと思います。

10/25(土)

(1) 基調講義:「子どもと女性をめぐる生活支援と権利擁護の現状と課題」

～私たちは何をすべきか～ 講師: 中田 雅章 氏

(2) シンポジウム:「子どもと女性への支援と課題」

10/26(日)

(1) 分科会(各県士会、団体からの実践事例等の発表)

(2) 日本社会福祉士会の動向等について

開催日時: 10/25(土) 12:30～17:00 / 懇親会 18:00～

10/26(日) 9:00～12:00

開催場所: 郡山ビューホテル

参加費: ①会員:3,500円 ②非会員:5,500円 ③学生:無料

(支払いは振り込みのみ、懇親会費は7,000円)

※参加費のみ岩手県社会福祉士会会員は負担します。

※詳細、お申込みについては別紙参照



会員の苦情対応および処分について(報告)

6月2日、被後見人を支援する相談支援事業所より、後見人である「ぱあとなあ」会員が被後見人に面会せず、身上についての相談ができず困っているとの苦情が寄せられました。

これを受け、同日中に岩手県社会福祉士会の苦情対応機関において協議を実施しました。

その後の当該会員および関係事業所に対する調査により、数年にわたり面会や電話による生活状況の確認を行わず、身上保護を軽視した後見事務を続けていたことが判明しました。

さらに、定期報告において「毎月面会している」と虚偽の記載をしていたことも明らかになりました。

これらの事実を踏まえ、処分を協議した結果、岩手県社会福祉士会懲戒規則第4条に基づき「戒告処分」とし、当該会員を「ぱあとなあ」名簿から削除しました。

処分理由は以下のとおりです。

1. 「正会員及び会に対する苦情対応規程」第2条第2項、および倫理綱領・行動規範に照らして、会員の行為が不適切であること。
2. 「社会福祉士の行動規範」に照合し、以下の複数項目に抵触したこと。
 - ・ I. クライアントに対する倫理責任
 - ・ IV. 専門職としての倫理責任
3. 「権利擁護センターぱあとなあ岩手名簿登録規程」第9条（活動状況の把握・活動報告）における虚偽報告は、組織に対する重大な倫理違反であること。



◆「情報のメール配信化」に向けた「WEBCAS」登録のお願い ◆

先日の定期総会資料送付時に、同封いたしました「WEBCAS」登録についてのお願いです。

当会としては情報提供の一環として、「WEBCAS」を基本に考えています。まだ登録設定をされていない会員は、当会 HP の「会員マイページ」からご登録をお願いいたします。「WEBCAS」のアドレスなどの設定変更は、御自身で行うことを基本としています。

HP のパスワードやご不明な点等については、事務局までお問い合わせください。



◆今後の活動予定 ◆ (2025 年 9 月 11日現在)

【9 月】

9 月 11～12 日(水・木)	強度行動障害支援者養成研修:基礎研修	
9 月 24～26 日(水～金)	令和 7 年度 要対協調整担当者研修	銀河ルーム
9 月 27 日(土)	2025 年度第 2 回全国生涯研修委員会議	東京
9 月 27～28 日(土・日)	実習指導者講習会	岩手県立大学

【10 月】

10 月 4 日(土)	自殺予防ソーシャルワーク研修	都南公民館
//	基礎研修Ⅲ 5 回目	
//	SSW 第4回NW会議	Web 開催
10 月 6 日(月)	正副会長会議	銀河ルーム
10 月 8 日(水)	税理士指導	
10 月 9 日(木)	監事 監査	中野事務所
10 月 11 日(土)	第 3 回 理事会	Web 開催・銀河ルーム
10 月 18 日(土)	ぱあとなあ人材育成研修 4 回目	岩手保健医療大学
//	特別研修(1) 「薬物依存からの回復とソーシャルワーク」	Web 開催
10 月 25 日(土)	基礎研修Ⅱ 5 回目	
//	ぱあとなあスキルアップ研修 3 回目	
10 月 25～26 日(土・日)	東北・北海道ブロック社会福祉士研究大会	郡山

次ページへ続く



【11 月】

11 月 8 日(土)	基礎研修Ⅲ 6 回目	
11 月 15 日(土)	基礎研修Ⅱ 6 回目	
11 月 23 日(日)	ぱあとなあ連絡協議会	東京浜松町
11 月 29 日(土)	ぱあとなあ名簿登録研修	ふれあいランド岩手

※最新情報は、HP または配信されるメール等をご確認ください。



「メのぺっこな編集後記」

皆様にとって今年はどんな秋になりそうでしょうか。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋…etc。
 ちなみに今年の私は、「運動の秋」です！来たる 10 月 19 日の盛岡シティマラソンのフルマラソンに
 挑戦いたします。学生の頃ぶりに運動に打ち込んでいるので、ストレス発散にもなっています(^_^♪
 しかし、そんな楽みな秋を過ごすためにも健康第一。この時期は『秋バテ』になりやすいそうです。
 夏の間にたまった疲れを、一度リセットするような気持ちで、ゆっくり体を休めることも大切です。
 皆様もどうぞご自愛いただき、素晴らしい秋をお過ごしください。それでは、また次号でお会いし
 ましょう！

by 編集担当 野村明生



< 編集担当 > 一般社団法人岩手県社会福祉士会 事務局

〒020-0816 岩手県盛岡市中野二丁目 16-1SET ビル 3 階 A

TEL: .019-613-5505 FAX: .019-613-5506

e-mail アドレス: info@iwate-csw.or.jp

